

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.10a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8に対応しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	機能改善	クライアントを新規インストールする時に自動でクイックアップデートエージェントをインストールするようにしました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	インストーラ共通	「Windows ファイアウォール」サービスが停止している場合、瞬快のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	瞬快をインストールする際、「Windows ファイアウォール」サービスを開始した状態で行ってください。	-
	クライアントインストーラ	クライアントを復元タイプ「ファイル・フォルダ単位」でサイレントインストールした場合、インストール後に修復対象・対象外領域を示すツリー表示が正しく反映されていない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	SROクライアントインストーラ	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした直後にディスクイメージ取得を行った場合、そのディスクイメージを配信すると、配信先のPC上で「0091 指定されたファイルが存在しません」というメッセージが表示され、Windows環境設定の処理ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした後、「Deployment Agent」サービスを再起動してください。その後、ディスクイメージの取得を実施してください。	-
	ドライバ	瞬間復元機能が使用する一時フォルダ内のファイル削除に失敗し、瞬快のタスクトレイのアイコンが赤色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアント	瞬快クライアントサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	サーバ	瞬快サーバサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	瞬快コンソールに登録されたクライアントPCが削除できない。瞬快コンソールで削除したいクライアントPCを選択し削除を実施しても、「最新の情報に更新」を実施すると元に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 並	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「Windows環境の設定」サービスを実行した時に以下の情報が設定されない。 ・固定IPアドレス ・優先DNSおよび代替DNS	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	弊社HPのトピックスに掲載しております「システムリカバリ機能の後処理が正しく動作しない」の「対応方法」を実施してください。	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」サービスが64bitOS上で正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のコンソールとサーバが別のPCにセットアップされている環境下において、以下のサービス作成に失敗する。 ・「ユーザ指定処理(ファイル転送あり)」を含むサービス ・「瞬快サイレントインストール」を含むサービス ・「ハードディスクデータの消去」サービス	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	スケジューラ	別セグメントに存在するクライアントPCに対して、以下の電源オンを伴うスケジュールを実行しても電源オンに失敗する。 ・電源オン ・WindowsUpdate連携	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-